

# 遮熱フィルム ダイワコート



透明度 + 熱カットで  
世界トップレベル

ガラス専用紫外線・近赤外線カットフィルム



## 特長

近赤外線（熱線）  
80%以上カット

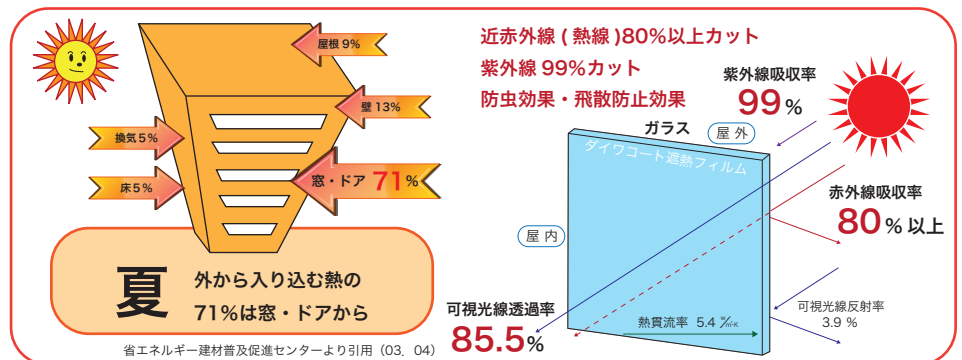
紫外線99%カット

ハーフミラー化しない  
(窓面の外観が変わらない)

優れた耐久性

飛散防止

防虫効果



## ■ ガラスコーティング「ダイワコート」他社製品との比較表

製品名	ガラス厚み	可視光透過率	紫外線カット率	日射透過率	日射反射率	日射吸収率	熱還流率	遮蔽係数*2	設計価格	JIS5759
メーカー	mm	%	%	%	%	%		SC	m <sup>2</sup> /円	*1
ダイワコート(熱吸収)	3.0	83.3	99.0	60.5	8.4	31.1	5.8	0.80	16,000	適合
大和										
ダイワコート(熱吸収+反射)	3.0	76.9	99.0	47.6	13.4	39.0	5.7	0.69	16,500	適合
大和										
A製品	3.0	88.0	99.0	66.0	22.0	12.0	6.1	0.80	18,000	適合
S社										
B製品	3.0	84.0	99.0	51.0	22.0	27.0	5.6	0.68	16,000	適合
S社										
C製品	3.0	40.0	99.0	25.0	20.0	55.0	5.9	0.49	16,000	適合
S社										

遮蔽係数がそれぞれ 0.80 のダイワコート (熱吸収) と A 製品において日射反射率値が 8.4 と 22.0、日射吸収率値が 31.1 と 12.0 になっています。すなわちダイワコートはフィルム施工後において遮蔽効果を確保しながら外部への反射を抑え、日射(熱)が入り込むのを防ぎ室内温度上昇を防ぐこととなります。

今までの遮熱フィルムはほとんどが熱反射タイプで、施工後ガラス面を外部から見るとハーフミラーのようになりますが、ダイワコートは変化がなく干渉縞も発生しないので室内も暗くならず視界が確保され、近隣からの反射でクレームも生じません。すなわちショールームや店舗ウインドウなどには最適な商品であります。

### \* 1国土交通省「建築物省エネ改修緊急支援事業」補助対象要件

- ・JIS5759(建築窓ガラスフィルム)で規定される日射調整フィルムの遮蔽係数、可視光線透過率、熱還流率、耐候性の性能を満足する事が、第三者の客観的な評価によって示されていること。

### \* 2遮蔽係数

日射調整フィルムの遮蔽係数 JISA5759:2008

遮蔽係数	記号
0.4未満	A
0.4以上0.6未満	B
0.6以上0.85以下	C

- ・3mm厚透明ガラスの日射熱取得率(0.88)を1とし、ガラスにフィルム貼りつけた場合の日射熱吸収率の割合表します。値が低いほど遮蔽効果が高く、冷房負荷の低減に効果があります。

## ■ 施工例



ホテルニューオータニ ガーデンラウンジ(レストラン)



ホテルニューオータニ 鳳凰の間(宴会場)

ニューオータニグループ  
**エヌアールイーハピネス株式会社**

〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1  
タワービジネスコート 8 階  
TEL. 03-3265-1110 FAX 03-3221-2827  
URL <http://www.nre-happiness.co.jp>

エヌアールイーハピネス株式会社はニューオータニグループの環境戦略会社です。おもにホテルニューオータニでの様々な環境への取り組みに関わって参りました。事業の範囲は企画から設計、施工、管理、改善提案と、システムや設備のライフサイクル全般にわたっております。この経験から得たノウハウを自分たちのグループだけのものではなく、広くお役に立てたいと考えております。施主、経営者の立場からメーカーの枠にとらわれずに最善のシステムを提案できることを強みとしております。